

「梨の受粉手伝う」

例会終了後松戸市高塚新田にある高代園さんにお邪魔して梨の受粉をお手伝いさせていただきました。

目的はなかよし学級のお子さんとうり狩りをするだけでなくロータリークラブのメンバーが受粉から農園の作業を体験学習し子どもたちに伝えていこうという趣旨のもとにトライさせていただきました。



この高代園さんの梨は毎年開花時に人の手で花粉づけする人工受粉作業を行っています。人工受粉では、梵天（ぼんてん）という道具を使い、一花一花ていねいに花粉をつけて行きます。



松戸北ロータリークラブの有志メンバー5名は低い梨の木に何度も頭をぶつけながらも16時までになんとか作業を終えました。

ここ数週間寒かったせいで例年より開花が遅かったようですが、大体桜の花と同じ季節に開花し真っ白の繊細な花をつけておりました。我々はベテランの方のアドバイスを受けながら幸水、豊水などの品種に次々と受粉していきました。

例年は花粉を中国からの輸入に頼っているようですが病気が蔓延したとのことで輸入は断念し、自ら用意した花粉を使用、またご夫婦のみで経営されているこの農園は奥さんがご病気だそうで、受粉作業は親戚の方やシルバー人材などに頼って毎年様々なことに苦労されているように感じました。受粉作業が完了すると実が大きくなっていくとのこと。収穫まで時間がありますが自分が受粉した梨がどうなるのか既に楽しみです。



松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 67.6%

第2432回例会 2024年4月10日(水)

- 国際ロータリー会長 ゴードンR. マッキナリー
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー 鶴沢 和広
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 第13Gガバナー補佐 鈴木 悦朗
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- 松戸北ロータリークラブ会長 小澤 直之
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 高橋 一彦
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp



## WEEKLY REPORT

本日の例会はシラジ・ヌールウル・サフィさんによる卓話がございました。現在松戸国際高校に在籍する3年生で日本語スピーチコンテストで市長賞を受賞され優勝されました。日本という異国の地で多くの苦労がありましたがその中で希望を持ち続ける大切さを学びこれからも活躍が期待される大変すばらしい内容でした。



また、本日は松戸市高塚新田にある高代園さんにお邪魔して梨の受粉をお手伝いさせていただきました。

目的はなかよし学級のお子さんと梨狩りをするだけでなくロータリークラブのメンバーが受粉から農園の作業を体験学習し子供たちに伝えていこうという趣旨のもとにトライさせていただきました。

### <第2432回例会プログラム プログラム委員 佐久間音弥>

- 12:30 点鐘 小澤直之会長  
ロータリーソング斉唱【♪我等の生業】
- 12:33 お客様紹介 柳 孝実会長エレクト
- 12:35 会食
- 12:55 例会再開  
会長挨拶・理事会報告 小澤直之会長  
幹事報告 高橋一彦幹事
- 13:00 外部卓話(外国人日本語スピーチコンテスト  
優勝者 シラジ・ヌールウルサフィーさん)
- 13:20 【委員会報告】  
出席親睦委員会 森谷充伯委員長  
諸事御祝・本日の出席率発表
- 社会奉仕委員会 大塚精一委員長  
社会奉仕基金発表
- ニコニコ委員会 吉田俊一委員長  
本日のニコニコ発表
- 13:30 四つのテスト唱和/点鐘 小澤直之会長



## WEEKLY REPORT

### 4月諸事お祝い② 親睦委員会 佐久間音弥

#### <ご結婚記念日>



小椋伸也会員 平20.4.6



大川高明会員 昭和61.4.26

中原光男会員 昭和44.4.25

大塚精一会員 昭和58.4.18 / 八木原清隆会員 平成11.4.25

#### ニコニコ発表 吉田委員長

##### 小澤盛明会員

妻の誕生日ありがとうございます。日々元気に過ごしております。

##### 大川高明会員

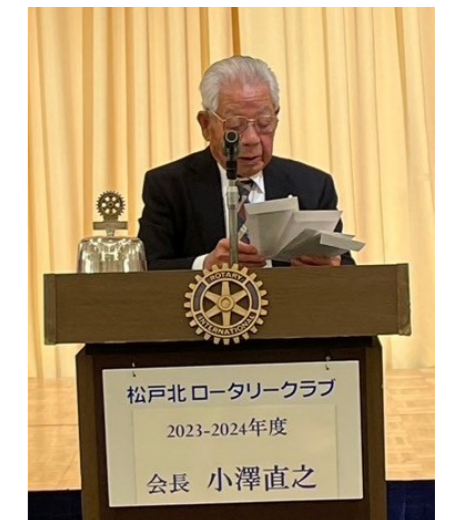
誕生日のお祝いありがとうございます。68歳になりました。また結婚記念のお祝いありがとうございます。38年になりました。これからも仲良くやってまいります。

##### 小椋伸也会員

誕生日と結婚のお祝いありがとうございます。4月はイベントがいっぱいで娘2人の入学式もありニコニコです。42歳になりました。結婚16年、ポリオ根絶に頑張っていきます。

##### 佐久間音弥会員

誕生日祝いありがとうございます。50歳まで一生懸命頑張ります！





## WEEKLY REPORT

### 4月諸事お祝い① 親睦委員会 佐久間音弥

#### <お誕生日のお祝い>



小椋伸也会員 昭和57.4.6  
本間紗也香会員 昭和54.4.16



大川高明会員 昭和31.4.14



佐久間音弥会員 昭和50.4.27

#### <令夫人誕生日>



小澤(盛明)泰子様 4.13

## WEEKLY REPORT

### <会長挨拶（理事会報告）小澤直之会長/ 高橋一彦幹事>



◆第1号議案 ガバナー公式訪問合同例会の決算報告について  
松戸RCとの費用分担について、過去は人頭割りで費用負担していましたがこちらからの申し出にてお弁当以外の経費は折半という事になりました。今回、会場費等の経費総額が102,940円、こちらを松戸RCと折半にて分担。松戸北RCの支出は、お弁当代30人分64,800円+51,470円で116,270円となります。今後の分担方法については、4/17の会長幹事会にて他クラブへ提案

◆第2号議案 5クラブ親睦ゴルフ大会（5/22）について  
北クラブ例会は移動例会として藤ヶ谷CCコンペルームを一時間借りて実施予定  
例会は12:30~13:30を予定（食事提供）  
小林ガバナー補佐幹事作成の別紙組織表を基に当日の設営、運営を行います

◆第3号議案 家族例会（6/19）について  
今回は保留としました。

◆第4号議案 台湾東部沖地震の緊急支援について  
4月17日（水）の会長幹事会にて他クラブの支援状況を確認したうえで支援金額を検討します。  
5月10日締め切りにつきメールにて展開して承認をお願いします。

◆第5号議案 新会員の承認について  
鈴木悦郎AG、小林辰幸AG補佐の推薦にて「佐藤友紀さん」を推薦します。  
本日より推薦書を掲示します。

◆その他  
・報告事項…2024-2025年度地区補助金申請の進捗について  
3/31に申請書を提出済み（今回は教育を目的に校外学習の補助という形で申請中）  
・4/24の講師例会について  
SAA中心に当日の段取り（講師、オブザーバーのガイド等）



## 卓話に先立ちまして①

公益財団法人松戸市国際交流協会  
理事長 伊藤誠様

国際交流協会は市や県からの依頼があり団体を設けて松戸市の国際化に取り組んでいます。私どもは数名の事務局員を予算をもらいながら活動しております。大きな事業としては夏に英語スピーチコンテストを行っております。9月にも料理教室などを行い、文化大使を任命するなどしております。また食事の提供や集まってパーティーを行うなどの活動も行っております。2月に日本語スピーチコンテストを行っております。この日本語スピーチコンテストには松戸市に住んでいる14人の外国籍の方にスピーチいただきました。松戸市には約2万人の外国籍の方が住んでいます。日本語を学べるしっかりとした機会を設けたいと思い市と連携しながら日々活動しております。



## 卓話前に先立ちまして②

## 松戸国際高校 中原様

松戸国際高校は松戸東高校から松戸国際高校に名前を変え昨年50周年を迎えました。本日スピーチするサフィーさんのような外国の生徒さんが数多く在籍しております。

総勢70名、20カ国外国の生徒さんが在籍しております。

ボランティア活動なども積極的に行っております。外国の生徒さんは多くの問題を抱えており特に、高校を卒業した後の進路相談などを行っております。



## &lt;卓話テーマ 希望を持つ大切さ&gt;

パキスタン/Sherazi Noorul Safi(シラジヌールウルサフィさん)

「どんなに困難な時期でも希望を失わないでください」これが、私がみなさんに伝えたいことです。私自身まわりの人たちからこの言葉を今までに何回も聞き、逆にイライラしたこともありましたが、困難な時にそれを言われてもという気持ちにもなりました。でも今はこの言葉がとても大切だと実感しています。その理由をこれから話したいと思います。



私は2015年に初めて日本に来ました。小学校4年生の終わりから5年生にかけて学校に通いました。最初は日本語が「はい」ぐらいしかわかりませんでした。

一年後私は自分の母国パキスタンに帰りましたが、日本で勉強をしたいと強く思い、5年後の2021年11月に日本に来て、再び日本の中学校に入りました。クラスみんなはその時、高校の入学試験の勉強を一生懸命にしていました。

私はと言うと小学校の漢字を習っていました。それで私は日本の高校には絶対に行けないと思っていました。当時、先生や親、周りの人たちから「希望を失わずに頑張れ」とよく言われていました。私も一生懸命勉強をしていましたが、希望が感じられませんでした。漢字をたくさん覚えても、数学がわかって、まだまだその先が見えませんでした。その時「希望」とは何だろうと考え、私なりにこう結論づけました。

希望とは問題に直面している時、この問題はいつか終わる、そのうち良いことが起こるとただ思う事ではありません。希望とは何が起こるか予測できないが、それでも揺るぎない強い気持ちを持ち続けることだと思います。希望とはたとえ何かを失っても、心は献身的になり続けることだと思います。希望とは、たとえ周りが壊れているように見えたり、不利な状況であったりして心が傷ついていても、諦めないで、進み続けなさいという声の中にもものだと思います。それで私はそれからは何が起っても希望を失わず、必ず高校に入学するという決意をもちました。

そして幸運なことに、私は高校生になることができました。自分の結果発表を見たとき、涙が止まりませんでした。その時いつも私を励ましてくれ、「サフィーならできる。希望を失わないで。」と言ってくれた中学校の先生のことを頭に浮かびました。